

も安政でいたいと思い、夫婦で話し合った上で、ペーパー離婚しました」

「自分の手で子どもを育てたい」という意向もあって、子どもが小さい間は、仕事はしなかった。子育てに力を注ぐ結果、気がつく、幼稚園の息子に方程式を解かせるほどの教育ママになっていったという。自分でも「やりすぎだったと思う」と省みる。子育てに心血を注いだこの期間は、自分の勉強とはまったく無縁だったという。

次男が幼稚園に入ったころ、ママ友との付き合いで忙しくなった。最初は食事に行っておしゃべりする、ごくふつうのママ友との楽しい毎日を過ごしていた。しかしそのうち、あるひとりが、何かにつけ安政に指図するようになっていった。

「私は彼女に支配されるのが怖くて、彼女の要求に応える自分がいやで、なんて私は価値のない人間なのだろうか、と思いつつ、あまりに苦しくて、何とかしないとイケないと心療内科にも通い、カウンセリングも受け、薬も飲みました。しかし医師やカウンセラーから告げられたのは、母親との関係が問題だということでした。

「ママ友との問題の根底には、あなたと実母の問題がある。一度、お母様と一緒にカウンセリングに来てください」そう言われて母に告げると案の定、「何言ってるの。医者は頭がおかしい。自分のことなんだから自分で解決しなさい。お母さんは関係ない」と取り